

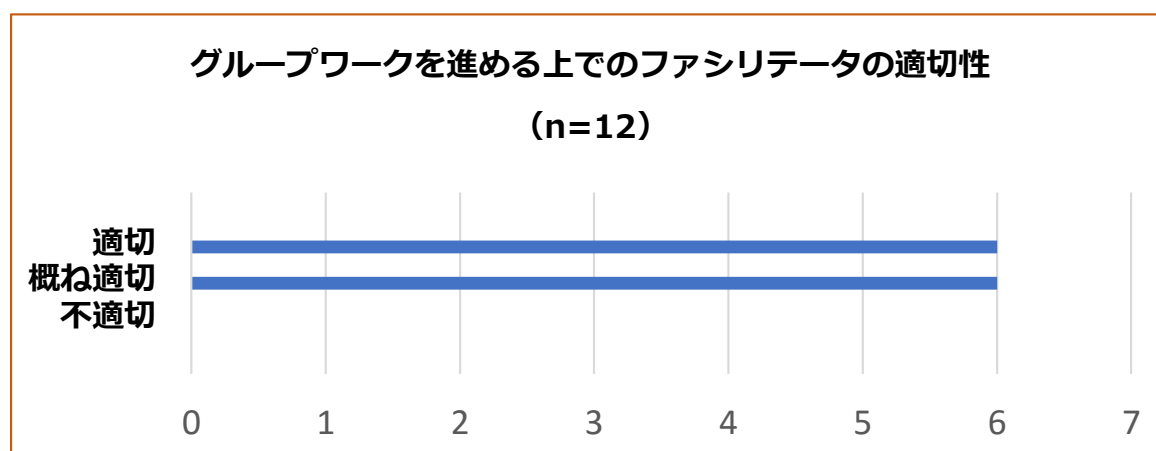
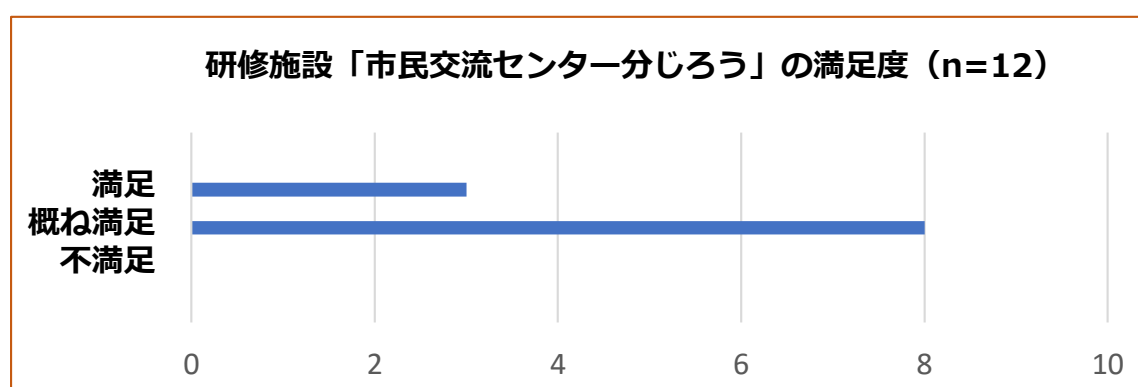
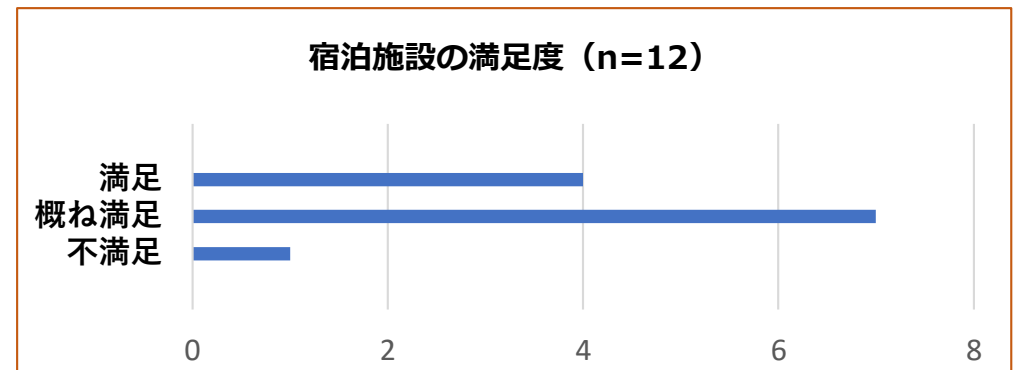
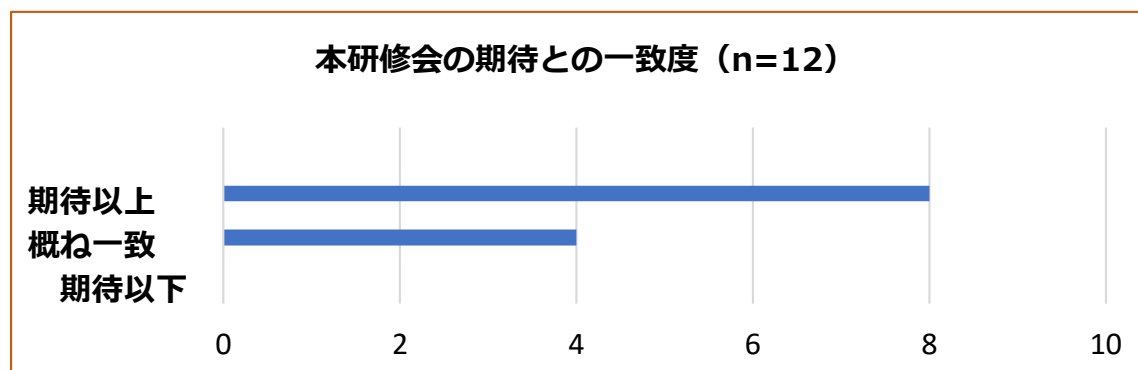
つまり地域多職種協働セミナー2018・参加学生の終了アンケート結果から

終了アンケートは、

- ①1日目～3日目の実施事項を時系列に列挙して、問題・課題を自由に挙げてもらうもの
- ②満足や適切性について、3択で挙げて選択するもの
- ③自由記述のもの3点で回答を求めた。

以下に示すように、概ね肯定的評価が得られ、目標は達成できたと捉えられる。但し、特に自由記述において、来年度に向けてのより良い企画のため提案として受け止められる回答もみられることから、今後は、講義担当者、ファシリテーター、企画・運営者などの意見も結集して課題を整理し、来年度に繋げたいと考える。

<参加学生の終了アンケートの結果（12名）>



<研修施設特養についての印象（自由記述）>

- ・大変きれいであった。
- ・ユニットケアが大変暖かい雰囲気であった（2名）。
- ・すべてが入居者目線で考えられており、入居者が安心でき、自分の居場所を見つけられる工夫が随所にあると感じた
- ・職員の方が大変親切であった。

<入居している認知症高齢者の支援方法を検討したグループワークについて（自由記述）>

- ・入居者との関りがもう1日あれば、より深い学び（考察）ができたと思う。
- ・多職種で同年代の学生と触れ合い、多くの分野の視点が学べた。
- ・理学療法士、作業療法士、薬剤師などの職種の学生がいたら、もっと適切な支援を考えることができたと思う。
- ・グループワークの時間がもう少しあった方が良かった（時間を超過をしてもらった）。
- ・グループワークをまとめるためのパソコンが各グループ2～3台あると良かった。

<グループ発表・全体討議について（自由記述）>

- ・グループ発表も全体討議ももう少し時間があれば、内容が深まったのではないかと
- ・グループ発表に対して、多くのファシリテーターの先生方から評価をしてもらいたかった